

稜線をゆく 寒風山～平家平

北に見える赤石山系へも
足元のぼけはいいね。

凡がはこぶ雲や
はるかな山並みの
んびりみる。

東平の2400m
東平(とある)遺跡



銅山越え

笹ヶ峰 山頂

石鎧神社の祠がまわられ
不動明王様の石像が
風雪にびくともやうに鎮座し
この山を守っている。



瀬戸内海が
あふに見える。



降る雨と太平洋と
瀬戸内海に分ける
大分水嶺。
分水嶺を意識して
歩くのが好きだ。

桑瀬峠

工佐と伊予とを結ぶ往還道であった。
日用品、食料品、木材など人の背で峠を
越えて運ばれていた。
大正時代に、本山方面から物資が入
ってくるまでは、人の往来が盛んだった。
その後、寒風山街道、新寒風山トンネルが
開通し、峠の役割はなくなった。



参考文献「高知の森林」

伊予富士

春にはアケボノツツジ
スミシもたくさん咲く

丸山荘

紅葉谷分岐

多し山 1885m

直登

来つよかつた。

赤石山系へつづいて

シ舞の鼻は
日本庭園のよう。

法皇山系へ

スプリングス(春の妖精)
カタクリ群生

愛媛県の情報
山で出会った登山者の
方々に教えてもらったものです。

昭和初期
この尾根上に
平家平の東麓
大川村の麦畑から
土小屋まで総延長
30キロの国境歩道が
高知管林局により
開設された。
人と森とのふれあいが
より親密な時代
だったのかもしれない。



銅山越え

やや道悪れ

直登

分岐

ちち山分岐

1619m

一谷分岐

一谷分岐

一谷分岐

一谷分岐

一谷分岐

一谷分岐

一谷分岐

一谷分岐

一谷分岐

一谷分岐

一谷分岐

一谷分岐

一谷分岐

いく筋もの
道形があるのが
貴重。

ちち山へと登る直登の道。
晴れた日には
見えるものがなく
まるで天へ登る気分と
なる。

大分水嶺

冠山 1732m

刈り払いOK。良好

最高の展望

平家平 1693m

平家平のテラス
来つよかつた。

吉野川
大橋が見える。

何もかもが新しい。この自然の
中を歩くと、自分の日々の俗念
とはかけはなれて、
あふれた生きたばかりの
新しい空気が、まるで
つづみかきかき。
高知 2013.5

この大きな稜線を歩いて、
四国という島を、なんだか
地球規模で見ているような
気持ちになる。



雲にのっている
気分。

16の急カーブが
連続する

登山口
道の駅から車
20分くらい

新寒風山トンネル入口

新寒風山トンネル

桑瀬川

木香温泉 道の駅

2013.2.1